

令和五年十月冠沓句

集句 三十八句

三島 神門 明子

しつかりとしみじみいただくものがたり靈界物語

わきあがる歓声阪神祝優勝

長き夜のちびりちびりとお神酒

言霊か妙音なりしか虫の声

若松 乾 幸太郎

わきあがる熱い思いの運動会

長き夜のしみわたる音虫の声

ありがとういつも聞いている虫の声

運動会聞いて元気だ虫の声

秋の日の夕方聞こえる虫の声

泉州 楠田 都庸次

長き夜の月の光と虫の声

三島 矢野 義男

しつかりとご神書拝読信徒ひとの道

しつかりと人の話を聞く勇氣

わかあがる教主様のお出ましに

わきあがる勝利の恵み野球バカ

長き夜の楽しみとなる読書かな

かしましくされど楽しき虫の声

貝塚 伊藤 香

長き夜の友になりたしものがたり靈界物語

しつかりとお腹にいれよかみのふみ大本神論

わきあがる歓声こだます綾の郷

神苑の静けさ冴える虫の声

枚方 小笹 順子

わきあがる夢と希望のわが未来

しつかりとわが人生を生き抜くぞ

長き夜の独学英語オンライン

長月の澄んだ夜空に虫の声

三島 足立 しげ子

しつかりと生きるたのしみ拝読を

しつかりと朝夕祈る神の前

長き夜の小物作りをしてくらす

三島 谷内 いづみ

わきあがる戦火の炎町をのむ

しつかりと足元を見て歩き出す

長い夏待ちにまつた虫の声

東大阪 枝廣 忠夫

長き夜の炬燵にふける教主の書

わきあがる青春の潮思い出づ

秋深ししづやの庭にも虫の声

城東 柳川 祐子

しつかりと筆を持つ手に集中し

しつかりとさせて頂くのご用

わきあがる早朝歩きふた呼吸

わきあがる日の出の光てを合わせ

雨上がり早朝歩き虫の声

三島 足立 正文

しつかりと進下退上しんげたいじょうみ身につけて

日本では歌を奏かなでる虫の声

長き夜の星を眺めて神思う

わきあがる平和を求める声しきり

天位 わきあがる熱い思いの運動会

若松 乾 幸太郎